

シンポ「若手弁護士の現状と未来」

期成会は、東京弁護士会の会員によって構成する団体（会員数約600名）で、市民のための司法の実現、弁護士業務の改革・合理化等を目指して活動しています。

今、長期にわたるデフレ等の経済事情や弁護士人口の急増に起因して弁護士の経営基盤が脆弱化しているとも言われています。とりわけ、若手弁護士についていえば、就職状況はやや改善しているものの、「希望する事務所に就職できない」、「やむなく就職した事務所がブラックだった」、「特定案件の仕事だけを担当させられる」、「就職はしたものの十分なOJTが受けられない」といった将来を危惧する不安の声も少なからずあるようです。

これらに対し、私たちはどう対処すべきなのでしょうか、弁護士会は何ができるのでしょうか。今、若手がどのような状況にあるかを探り、解決していく道筋を検討していくことが喫緊の課題であるといえます。そのため、私たちは下記のとおりシンポジウムを企画しました。多くの方々の参加をお待ちしています。

日時 2017年7月4日（火） 午後6時～8時30分

場所 弁護士会館502号室A～C

内容

第1部 「若手弁護士の現状分析」

その1 東弁アンケートからの現状分析

東弁新進会員活動委員会が実施・公表している新規登録・登録5年目の「弁護士就業問題等に関するアンケート」をもとに現状を分析します。

その2 登録後早期に移籍した若手弁護士等からの聞き取り結果

新規登録後、早期に移籍したり、即独等した弁護士から聞いた実情を報告します。

第2部 パネルディスカッション「若手弁護士の未来—弁護士会はどう対処すべきか」

上記分析・報告から求められる問題・要望につき、若手弁護士（66・67期）をパネリストに迎えて議論をしていきます。

【討論課題】（下記exは検討課題の一例です）

- ① 就職活動 ex 事務所・雇用情報をもっと多く公表・開示してほしい
- ② ブラック事務所問題 ex ブラック事務所を改善してほしい
- ③ OJT ex 気楽に相談できる弁護士を紹介してほしい
- ④ 事務所移転 ex 本格移転までのつなぎの事務所を設けてほしい
- ⑤ 収入増加策 ex 若手のために何ができるか

第3部 まとめと提言

期成会 代表幹事 小林政秀

[問合せ先] 日比谷シティ法律事務所内 期成会事務局 TEL3580-6103